

平成29年度 精華学園高等学校 学校評価書

1、学校教育目標				
教育目標: 徹底的に生徒の立場に立ち、あたたかく、かつ甘えの無い指導を貫く。 中・長期目標: 生徒自ら未来を切り開けるよう、生きる力、自立心、心豊かな逞しい精神を備えた生徒を育成する。				

2、自己評価				
評価領域	重点目標	具体的方策	評価(4段階)	重点目標の達成状況の診断・分析
教務	社会性を身に付ける	レポートの提出期日等、規則・期日を守らせる	3	提出の遅れが考えられる生徒に対し、前もって積極的な指導を行なうことにより、提出期限を守らせた。
		基本的な生活習慣を身に付けさせる ・遅刻、欠席をさせない	3	事前に登校日を再確認させるなど、目標に向けた適切な指導を行なった。
		挨拶、礼儀等、基本的なマナーを身に付ける ・挨拶をする ・敬語など丁寧な言葉づかいを身に付ける	3	生徒一人ひとりに対し、細かな対応をおこなうことで挨拶や礼儀の重要性を理解させた。
	学習の機会を確保する	学習に取り組める環境を整備する ・教員配置の充実 ・開校日の充実	4	教科指導だけでなく、生徒の相談等に応じられるよう教員配置を充実させることができた。
	学力を向上させる	基礎学力を身に付ける ・課題の内容の向上 ・試験に向けた学習指導の向上	3	生徒の適正に合わせた積極的な指導を行なった。
		進路実現のため、学力を向上させる ・進学、就職試験に向けた学習指導を行なう	3	面談等により生徒の状況を理解し、個々の進路目標に応じた適切な指導を行なった。
積極性、協調性を身に付ける	学校行事により体験学習、共同作業の場を充実させる ・学校行事の拡充 ・生徒の状況に則した行事内容の向上	3	様々な行事を企画、実施することができた。 生徒が主体的になってできる活動を更に増やせると良い。	
	学校行事の様子の公開、お知らせ等の強化を行い、参加者を増やす ・生徒へのお知らせの充実	4	ホームページや学校新聞などを大いに活用することができた。	
進路指導	進路指導を充実させる	進学、就職意欲を向上させる ・個別面談の実施	4	既定の面談だけでなく、個別に相談に応じるなどの対応ができた。
		個々の進路指導を充実させる ・個別面談の機会の確保	4	生徒、保護者からの依頼に対し、的確な対応ができた。
	保護者及び家庭との連携を図る	保護者に学校での生徒の様子を理解させ、保護者を巻き込んだ進路指導を行なう ・三者面談の向上	4	日頃から近況報告書等で出席状況を知らせた上で、面談時には細かな様子を伝えることができた。
生徒指導	社会的規範を身に付ける	社会的マナーを順守する	3	個別に指導をすることができた。全体として指導する機会があるとよい。
		学校規則を順守する	3	これまでの指導の成果もあり、学校規則に違反する生徒は大幅に減少した。
	健全な心身の育成	生徒の個別の事案に対応する	4	各教員が生徒の様子をよく気にかけて、気になる生徒には声を掛け、話を聞く機会を増やすなど、積極的に対応した。
	保護者及び家庭との連携を図る	保護者に学校での生徒の様子を理解させ、保護者を巻き込んだ進路指導を行なう ・三者面談の向上	3	生徒の様子を細かく伝えるよう努力した。
コース	コース授業内容を充実させる	授業内容の拡充 ・授業内容、指導方法の向上	3	授業内容の向上に向け、教員間でよく話し合い、実践することができた。
		生徒、社会の需要を反映した新たなコースの展開	3	卒業後に役立つ資格取得のコースを多く設置している。
	授業受講意識を向上させる	取得資格、取得技術の充実、向上	3	卒業後にどのように必要になるかを、より現実的に理解させることで意識を高めた。
保健環境	学習環境の整備	校舎の清掃を行う	3	掃除の時間を定め、生徒と教員で共に取り組むことができた。
		校舎、備品の管理を行う	3	備品の数だけでなく、タブレット端末が正常に作動するかなどまでの確認を怠らないようにした。
	健康・安全教育の徹底	環境美化に関する指導 ・課題の設定 ・学校行事を利用した指導 ・ゴミ拾いボランティアの実施	3	定期的に生徒が掃除をする時間を設け、年末には学校内の大掃除を生徒と教職員で行った。
		健康診断の実施	4	生徒毎に健康診断を受診させ、その結果を提出させた。
業務改善	業務の効率化を図る	入学等の学校手続きの効率化	4	よりスムーズに入学手続きが行えるよう改善し、最適化を図った。
		教育活動業務の効率化 ・生徒の情報管理のシステム化 ・成績管理のシステム化	4	本校と同様の管理システムを各校舎にも導入するなど、効率化に向けた取り組みがあった。
		県等への申請業務の効率化	3	マニュアルに従い、効率よく処理することができた。

3、学校評価総括(取り組みの成果と課題)	
【成果】	タブレット端末を利用した学習など、最新の教育方法を取り入れることで、幅広い学習方法を可能にした。 日本語検定や新設の声優コースでは、正しい日本語の使い方や表現力を身に付けることができる場を設けることができた。
【課題】	生徒が主体的に活動できるような場をより多く展開すること。

4、次年度への改善策	
人との関わりの重要性を、より分かり易く理解できるよう指導を徹底し、卒業後も充実した日々を過ごせるような指導内容とする。	